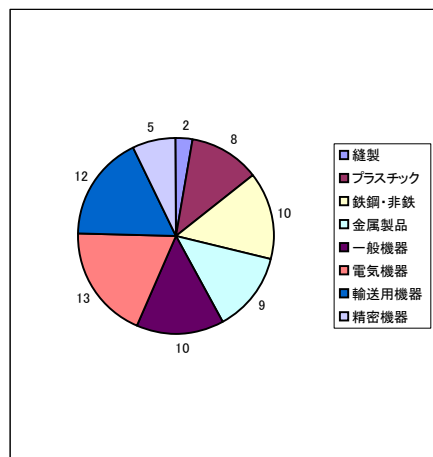


# 発注動向

-2010.8-

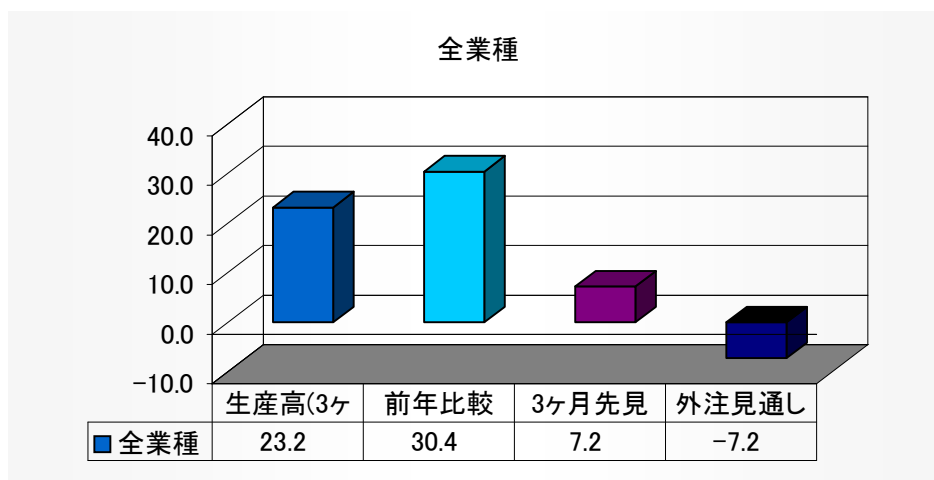
- 調査時点 平成22年7月調査(22年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 69社(回答率:46.0%)  
(縫製2社、プラスチック8社、鉄鋼・非鉄10社、  
金属製品9社、一般機器10社、電気機器13社、  
輸送用機器12社、精密機器5社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12末時点)

縫製	2	3.1%
プラスチック	8	12.5%
鉄鋼・非鉄	10	15.6%
金属製品	9	14.1%
一般機器	10	15.6%
電気機器	13	20.3%
輸送用機器	12	18.8%
精密機器	5	7.8%



## 全業種

前回調査結果(3月末時点)に比べ、生産高の3ヶ月前比較は+23.2(前回+7.9)でプラス15.3ポイントと改善が見られる。また、生産高の前年比較は+30.4(前回+15.8)でプラス14.6ポイントと改善が見られる。さらに、生産高の3ヶ月先見通しについて、+7.2(前回▲22.4)でプラス29.6ポイントと改善が見られるとともに、外注利用の見通しについても、▲7.2(前回▲22.4)でプラス15.2ポイントと改善が見られる。



## ■ 生産高

生産高の3ヶ月前比は、前回調査結果(3月末時点)に比べ、「電気機器」が+30.8(前回▲11.8)でプラス42.6ポイント、「プラスチック」が0.0(前回▲40.0)でプラス40.0ポイント及び「金属製品」が+22.2(前回▲12.5)でプラス34.7ポイントと大幅な改善が見られる。また、「鉄鋼・非鉄」が+30.0(前回+8.3)でプラス21.7ポイントと改善が見られる。さらに、「縫製」については横ばいである。一方、輸送用機器が+33.3(前回+45.5)でマイナス12.2ポイント、「一般機器」が+30.0(前回+45.5)でマイナス15.5ポイントと悪化が見られる。また、「精密機器」が0.0(前回+50.0)でマイナス50ポイントと大幅な悪化が見られる。

生産高の前年対比は、前回調査結果(3月末時点)に比べ、「電気機器」が+30.8(前回+5.9)でプラス24.9ポイント、「鉄鋼・非鉄」が+30.0(前回+8.3)でプラス21.7ポイントになったほか、「一般機器」、「精密機器」及び「輸送用機器」でも改善が見られる。また、「金属製品」は▲11.1(前回▲12.5)でプラス1.4ポイントと横ばいである。一方、「プラスチック」が+12.5(前回+20.0)でマイナス7.5ポイント、「縫製」が▲50.0(前回▲33.0)でマイナス17.0ポイントと悪化が見られる。

## ■ 業況3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは、前回調査結果(3月末時点)に比べ、「鉄鋼・非鉄」が+10.0(前回▲41.7)でプラス51.7ポイント、「輸送用機器」が0.0(前回▲36.4)でプラス36.6ポイントとなるほか「金属製品」及び「縫製」でも大幅な改善が見られる。また、「一般機器」が0.0(前回▲18.2)でプラス18.2ポイント、「精密機器」が+40.0(前回+25.0)でプラス15ポイントと改善が見られる。さらに、「プラスチック」は0.0(前回0.0)で横ばいである。一方、「電気機器」がプラス7.7(前回+23.5)でマイナス15.8ポイントの悪化が見られる。

## ■ 外注見通し

外注見通しは、前回調査結果(3月末時点)に比べ、「プラスチック」が0.0(前回▲40.0)でプラス40.0ポイント、「縫製」が0.0(前回▲33.3)でプラス33.3ポイントと大幅な改善が見られる。また、「金属製品」が▲11.1(前回▲37.5)でプラス26.4ポイント、「電気機器」が▲7.7(前回▲29.4)でプラス21.7ポイントとなるほか「一般機器」、「鉄鋼・非鉄」でも改善が見られる。一方、「精密機器」が+20.0(前回+25.0)でマイナス5ポイント、「輸送用機器」が▲8.3(前回0.0)でマイナス8.3ポイントと悪化が見られる。

